



もがみ 仕事の魅力



2018
Vol.14
(12月)

通信

「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取り組みをお知らせする通信です。

働きやすい職場づくり先進事例視察研修

12月3日(月)、最上地域の企業の多様な人材の確保・定着につなげてもらうため、働きやすい職場づくりに向けた先進的な取り組みを学ぶ視察研修を開催しました。

11名の参加者は、庄内地域を訪問し、仕事と家庭を両

立しやすい環境整備に取組む企業や、地域企業と連携した子どもの育成などを視察するとともに、学識経験者から働きやすい職場を作るためのポイントを学び、意見交換しました。

“理想の職場は自分達でつくる” Spiber株式会社「やまのこ保育園」

社員には多くの県外出身者がいるため、家族も含め、安心して働ける環境を整備するために開所。

保育方針のほか、保育士自身の給与・勤務形態なども保育士同士で話し合いを重ねながら決定。

食事の準備や片付けを子ども達が行ったり、遊びや食事の時間を子ども一人ひとりのタイミングに任せるなど、自主性を尊重した保育には一堂びっくり!



“柔軟な経営で社員ファーストを実現” キヤド・キヤム株式会社

東京スカイツリーをはじめ、数多くの有名建築物の床面の建築設計をした会社。社員の約65%が女性。

社員の要望に答えているうちに、国の基準を上回る育児休暇や短時間勤務などができ、両立支援施策が充実していきました。クリスマスケーキの購入助成や、ペット同伴出勤OKなど、ユニークな支援制度も多数。



“子ども×ものづくり×地域企業” キッズドームソライ

11月にグランドオープンしたヤマガタデザイン株式会社が建設し、運営する全天候型児童遊戯施設。

体をダイナミックに使って楽しむ「アソビバ」と、約200種類の工具、3Dプリンターなどのデジタル工具、地域企業が提供している素材でものづくりを体験できる「ツクルバ」があり、多くの親子が楽しんでいました。



情報・意見交換



事例提供者: 薄葉 祐子 氏(鶴岡工業高等専門学校 准教授)

「すべての人が働きやすい職場づくり」に向け、薄葉准教授から今の働き方やワーク・ライフ・バランス推進の課題、先進事例を紹介いただいた後、社内で取組みを進めるにはどうしたらいいか助言をもらいました。

～ 問い合わせ先 ～ 発行日: 平成30年12月
新庄市金沢字大道上 2034 山形県最上総合支庁地域産業経済課
産業振興担当 TEL0233-29-1309 FAX0233-23-2628